

台風被害はありませんでしたか ！

8月末から9月にかけて台風15号から21号まで次々と襲来し、多大な傷跡を全国に残しました。台風15号は九州の西側を通り、串木野から川内にかけて被害が多かったようです。皆様のところでは被害は無かったでしょうか？

県内では山の被害も多く、外周部より中のほうに倒木が多く見られます。風の影響の不思議さを感じます。これらの風倒木の処理はバイオマスが最良と考えますが、銘木クラスの木材はやはり用材として使われるのでしょうか？ この際、気をつけなければならない事は「年輪割」や「揺り割」でしょう。こういった傷のある木材が一般製材品に紛れ込むと、強度不足など県産材への信頼を失う事が心配されます。細心の注意を持って木材を取り扱しましょう。

一方、台風18号を起因とする「関東・東北豪雨」災害は、テレビで見ている、大きなショックを受けました。住宅がそのまま流されていく映像等は、何とも言えない喪失感を感じました。かろうじて流れなかった家も床上浸水の被害を受けていました。平成5年の「8・6水害」を思い出し、家具や泥の撤去、水を含んだ畳の重さなど、二度と体験したくないと思いました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

「浸水被害を受けた住宅に関する改修方法の注意点」という記事を見つけましたので抜粋します。1. 消毒：床下や浸水被害部の壁の剥離と消毒。 2. 接合部の補強：平成11年以前に新築した家は特に注意。 3. 劣化部の調査と取替え：劣化・蟻害部の取替・補強。アンカーボルトの補強：基礎と土台、土台と柱。面材による建物下部補強。木造住宅の靱性を確保する。耐震性の向上。浸水被害を受けた断熱材の交換。 等です。

自然災害を少なくするためには、環境保全が大切と言われます。木材を有効に活用して、山の再造林につなげていきたいものです。

【情報】

「住まいと建築展」が開催されます

日時：10月23～25日 10:00～17:00(最終日は16:00)

場所：県民交流センター

内容：「地材地建」かごしま木の家づくりシンポジウム

木造住宅耐震技術講習会

かごしま木造住宅コンテスト2015

等、家づくりの情報がいっぱいです

「かごしま木材まつり」も同時開催されます

認証かごしま材による軸組み構法展示や餅撒きもあります。

マガジソラックやプランターカバー等の木工教室があります。

当社は「木製立体迷路」や「簡易テント」を展示します。

【定休日】

10月は3, 4, 11, 12, 18, 24, 25, 31日となります

11月は1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 23, 29日となります

宜しくお願いします。



木製立体迷路内部